

一般社団法人島田青年会議所

2023年度 基本資料

基本理念

輝く未来を創造し一人ひとりが自分にできることを考え
魅力をつなぎ、ひとがつながり、受け継がれてきた
Jayceeの精神を次世代へつなげる

基本方針

1. 島田市、川根本町の同志をつなげる大使に
2. 意識改革からつなげる強いまちづくり
3. 子ども達の夢をつなげる青少年の育成事業
4. 未来につなげる会員拡大
5. 次世代につながる人財育成
6. ステークホルダーとのつながりを強固にした広報活動

スローガン

つながり

～伝統と変革に向き合い さらにその先へ～

理事長所信

一般社団法人島田青年会議所

理事長 松山 寿明

はじめに

1966年、「JCの若さで創ろう明るい未来」の志のもと島田の地にて島田青年会議所が誕生いたしました。それから58年、先輩諸兄の汗と涙、そして、地域を愛する若きパワーは本年度まで常に絶やさず受け継がれて参りました。2020年、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、不要不急、そして公私ともに重要至急かを問われ、人々の生活様式や価値観を変えました。また昨今では国連安保理常任理事国であるロシア自らがウクライナに軍事侵攻したことにより、日本の安全保障の信頼性、脆弱性が浮き彫りとなりました。そして、これらが相まって供給ショックに拍車をかけ、異常なまでの価格の高騰に経済不安を加速させております。私達の「あたりまえの日常、あたりまえの平和」はあたりまえではないことに気づかされるには十分でありました。そして、このような社会情勢の波は、青年会議所の運動にも及ぶものです。今後、我々が青年会議所活動を行う際には、まちにとって「本当に必要なことなのか、価値の認められることなのか」がこれまで以上に問われ、真に地域から必要とされる活動が求められます。

島田青年会議所には、設立時から58年に亘りつないできた、まちに対する想いがあります。歩みを止めることなく、これまで以上に社会の変化にあわせて島田青年会議所の運動を進化させ、活動地域の質的価値を高め、変わらぬまちと人の想いをより良い未来につながる何が何でも重要なことであると考えます。

島田市、川根本町の同志をつなげる大使に

我々の活動は、島田市、川根本町を舞台に展開させていただいており、そんな中、私は島田青年会議所の創立以来初となる川根本町出身者の理事長となります。川根本町出身者の理事長として、島田市、そして川根本町の若者同志をつなげる使命があると認識しております。島田青年会議所と川根本町との関わりは、2015年に川根本町社会福祉協議会と防災協定を結ばせていただき、2017年から、中学生を対象に継続し実施させていた

だいている子ども達の主権者意識を育む事業「みらいくプロジェクト」そして、2021年には川根本町の行政そして、川根本町の学生にご協力をいただき、地域住民に社会への関心を喚起する事業「ぼくらのまちの未来会議」を実施させていただきました。こうした活動を通し、行政間でのつながりは年々堅固になっておりますが、こと民間企業や地域住民の方々とは、青少年育成事業などスポットでのつながりにとどまっております。私が理事長の職をお預かりする上でと最大の責務は、川根本町出身者の会員拡大はもちろんのこと、各団体を通じ島田市、川根本町の若者世代をつなげることです。いつ何時でも島田市、川根本町の青年世代が一枚岩となれる体制を整える役割が私たちにあると考えております。青年会議所の魅力の一つとしては、20歳から40歳の若者で構成されていることが挙げられます。各団体間で情報を共有し、それぞれが協力し合うことが活動エリアの発展や、また有事の際、最大限のパフォーマンスにつながる事業を構築します。

意識改革からつなげる強いまちづくり

2022年9月に、台風15号の影響により静岡県内では記録的な大雨となり、土砂崩れや家屋の浸水など甚大な被害をもたらし、それは、我々の活動エリアである島田市、川根本町も例外ではなく、土砂崩れによる家屋への被害や島田市、川根本町をつなぐ主要道路は、各所で交通を遮断させられる被害をもたらしました。島田青年会議所では、週末の発災を受け、直後の月曜日には災害対策室を立ち上げ、招集からわずか数時間で10名以上のメンバーが集まりボランティアに参加させていただきました。また翌日には、近隣LOM、週末には県外LOMも含め100名を超す青年会議所メンバーが駆けつけてくださり、自身を顧みず地域をそして、仲間を思い活動してくれた姿に胸が熱くなる思いでありました。

我々、島田青年会議所は2015年に島田市社会福祉協議会そして、川根本町社会福祉協議会と被災時における相互応援に関する協定書を結ばせていただき、2020年には協定書の更新をし、平常時においても相互の情報交換に務め、被災時を想定した防災訓練を実施しております。2023年度におきましても今までの成果をそして、今回の活動を糧としてさらに練度を高めることはもちろんのこと、三者間で協力し合い地域住民に対し、さらなる防災意識、そして自らの地域は自らで守るという意識向上に努めて参ります。

子ども達の夢をつなげる青少年育成事業

2020年、全国の教育現場ではGIGAスクール構想がスタートし、また現在ではVR（仮想現実）を実現する技術が目まぐるしく進化しております。これに伴い子ども達の個性に合わせ、教育環境の選択肢を知ると共に、既成概念に囚われない教育イノベーターを生み出すことにつながります。VRの進化は、よりリアルな空間を創ることで学校に通うことが難しかった子どもや年齢、性別、または様々なハンディに関係なく誰でも平等に

学習ができる環境が整うであろうと考えます。しかし、現在では技術面、設備環境ともに発展途上であることは否めません。近い将来リアルとバーチャルの融合がより普通になっていく世の中になると考えます。しかし、一方でリアルとして経験しておかなければならない場面も多く存在します。現実として知らぬが故に起きる凄惨な事件や事故を未然に防ぐためにも、人を傷つける怖さ、柵がない道の怖さ、時として見せる自然の脅威など危機管理をしっかりと養った上でのバーチャルとの融合が理想であると考えます。また日本人には、諸外国に対し誇れる文化が多く存在しております。その一つが礼儀を重んじ、和を大切にす心、すなわち「日本人のこころ」であります。しかし、近年ささやかれている「日本人のこころ」の喪失は、さらに顕著に表れており、そのことが日本を住みにくくしている要因の一つであると考えます。

青少年育成事業では、他人を思いやる心、家族を愛する心、祖先を敬う心、自然を慈しむ心、故郷を想う心、祖国を愛する心、日本人が見失ってきた「日本人のこころ」を育むと共に、子どもや若者が将来の夢や希望を持てるような支援が求められます。我々の活動地域にある雄大な自然を活かし、山や川を五感で感じ、動植物の命の尊さに触れ、地域の魅力ある旬を堪能できる、普段の生活や現在のバーチャルでは決して味わうことのできない五感を刺激する体験を地域の宝である子ども達に対し実施していきます。その中でおこる葛藤や試行錯誤、仲間と共に乗り越えた経験が大人へとステージが変わり壁にあたっても乗り越えていける力になります。その力が社会に出た際に他人を尊重し、自身の明るい未来の創造につながると確信しております。

未来につなげる会員拡大

会員拡大とは、単に会員を増やすことを目的とせず、地域により良い影響を与えることができる人材を増やし、地域を豊かにすることと考えます。日本全国に存在するJCの多くは会員の減少に頭を悩ませ、様々な手法を用いて同志の拡大に励んでいる一方で、島田青年会議所が近年抱える課題として、会員の平均在籍年数が3年を切り、成長の機会の低下が言われております。この課題は、これまで先輩たちが紡いでこられたJC運動の意義や精神を受け継ぐことができなくなることが懸念されます。これは現在のコロナ禍を経て成長の機会喪失がより加速しつつあります。こうした最中、これまで同様に組織として活動を続けていくためには、多くの青年を巻き込み、私たち愛する地域を自らが牽引するリーダーを生み出していく必要があります。その仲間と共に、会員一人ひとりが力強いリーダーシップを持った人財であれば時として数を凌ぐ力に変わります。私たちの運動における明確なビジョンと必要性を示し、何よりもこの団体に所属するメンバー自身が島田青年会議所を愛し、それを次世代に伝播していくことこそが、組織力を強め地域により良い影響を与えていくのです。今までのような拡大候補者だけではなく、もっと広い視野で拡大候補者の発掘を行いつつも、数だけではなく実際に活動のできるメンバーを育ててほしいと考えます。会員全員が自ら主体的に行動し、会員拡大に取り組むことで、一人でも多く

の熱意ある同志を増やし、まちと人の想いをより良い未来につないでいくことが何よりも重要であると考えます。

次世代につなげる人財育成

「このまちにJCは本当に必要なのか」あらゆる苦難を乗り越えてきた我が国において、今や多くの経済団体やまちづくり団体も多数存在しております。そんな中、なぜJCが唯一無二の団体であるのかを考える岐路に立たされているのではないかと感じます。皆さん、JC運動の意義を理解していますか。深く理解しようともがいておりますか。JC運動の意義を理解しないまま事業を展開し、自己満足で終わっていませんか。運動を理解しないまま事業を展開しては、地域からはただの有難迷惑の団体で終わってしまいます。私は、JCが本気にさえなれば、必ずや「明るい豊かな社会」を築けるものと信じております。ただし、そのためには我々Jayceeが「誰かがいつかやってくれる」といった受動的な市民の意識を変革し得る力を十分に発揮しなくてはなりません。本気で我々が目指す社会を築いていこうとするのであれば、我々JayceeがJC運動本来の意義と目的を常に明確にすることで、手段が目的と化したJCごっこから脱皮し、誰のための何のためのJC運動なのかを深く理解しましょう。

自らが住まう地域であるからこそ、情熱と気概を持ち、メンバー全員が志を同じくする真に地域から必要とされる組織を構築して参ります。

ステークホルダーとのつながりを強固にした広報活動

我々の活動エリアである島田市、川根本町において特に川根本町では島田青年会議所を知っている人はどのくらいいるのだろうか。2021年、川根本町において事業を開催した際、「島田市の団体がなぜ川根本町でこのような事業をするのか」「島田青年会議所とはどういった団体なのか」という問い合わせが私に多く寄せられました。その疑問自体をなくすことが2023年度の島田青年会議所広報における最終目標です。

青年会議所運動の推進と、その活動の広報は車の両輪です。島田青年会議所がまちの課題に沿った活動をいかに展開しても、住民に認知されなければ運動にはなりません。ましてや、様々な情報があふれているこの時代に目に触れられる情報として発信できなければ、島田青年会議所の存在意義も埋没しかねません。島田青年会議所の運動の成果を地域に対し適切に発信することが島田青年会議所の認知度を向上させ、地域に対する影響力を高めることにつながるのです。

また、まちのニーズに沿った活動をするために、広報はただ一方的に発信するだけでなく各ステークホルダーとのコミュニケーションを強化するとともに、自身もそうであると自覚し、青年会議所の理念、行動に一貫性もつことが島田青年会議所の認知度を向上させ、地域に対する影響力を高めます。

結びに

「お前は世のため人のためをひたすらに考えろ。スキルなんかはJ Cを卒業する際にくらでも身に付いている」私が2020年、初理事に就任した際、敬愛する先輩からいただいた言葉です。以来、自身が計画する事業において「この事業は世のため人のためにしっかりとなっているのだろうか」と常に自問自答を繰り返して参りました。憧れる先輩の背中を追いながら、我が身も顧みず行動し、どこかで誰かの役に立っていることをひたすらに信じて走り続ける。それが我々Jayceeであります。J Cから多くの成長の機会をいただいてきたことに感謝し、先輩たちから脈々と受け継がれてきたバトンを更に太く、そして、密にして次世代へとつなげていくことをお誓い申し上げ、所信と代えさせていただきます。

一年間よろしくお願いいたします。

基本運営方針

すべての業務は一般社団法人島田青年会議所の
定款並びに各種諸規定に沿って行う

職務分掌①

筆頭副理事長

1. 会務全般の掌握及び指導
2. 担当委員会の掌握及び指導
3. 理事会・正副ミーティングの統括及び推進
4. 未来への指針の検証業務

副理事長

1. 担当委員会の掌握及び指導
2. みらいくプロジェクトの企画・運営（河島副理事長）

専務理事

1. 理事長・副理事長の補佐
2. 担当委員会の掌握及び指導
3. 会計財務管理業務
4. LOM内褒賞の企画・運営

事務局長

1. 副理事長・専務理事の補佐
2. 理事会・正副MTGの設営
3. 各会議の議事録の内容確認及び作成業務
4. 総会資料の作成業務
5. 渉外業務
6. 中部5JC合同例会の企画・運営
7. **総会の企画・運営（7月例会）**
8. その他、庶務規定 第2章「事務局」に則り業務
会員クラブ（会員親睦会）（サマコン）
卒業アルバム（会員クラブ）

職務分掌②

青少年育成委員会及び委員長

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 新入会員の拡大 | 2. 8月青少年育成例会の企画・運営 |
| 3. 11月スポーツ例会の企画・運営 | 4. バイパスクリーン作戦の運営 |
| 5. 各会議の議事録の作成業務 | 新年会の企画・運営（会員クラブ） |

拡大委員会及び委員長

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 新入会員の拡大及び統括 | 2. 会員拡大のための調査・研究 |
| 3. 新入会員準備業務 | 4. 新入会員のフォローアップ |
| 5. 1月例会の企画・運営 | 6. 4月拡大例会の企画・運営 |
| 7. 9月ブロック大会例会の企画・運営 | 8. 卒業式の企画・運営 |
| 9. 各会議の議事録の作成業務 | |

まちづくり委員会及び委員長

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 新入会員の拡大 | 2. 投票率向上事業の企画・運営 |
| 3. 6月指導力開発例会の企画・運営 | 4. 防災協定に基づく活動の推進 |
| 5. 10月青年団体交流例会の企画・運営 | 6. 各会議の議事録の作成業務 |
| | 忘年会の企画・運営（会員クラブ） |

総務・広報委員会及び委員長

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 新入会員の拡大 | 2. 当該年度の準備品業務 |
| 3. 各会議の議事録の作成業務 | 4. 総会の企画・運営（2月例会） |
| 5. 5月自由テーマ例会の企画・運営 | 6. 総会の企画・運営（12月例会） |
| 7. しまだ大井川マラソンへの協力 | 8. 選挙管理委員会の運営 |
| 9. ホームページ・SNSの更新 | |

委員会別分担表

月	事業名	青少年育成	拡大委員会	まちづくり	総務広報	事務局
1	1月例会の企画・運営 新年会の企画・運営（会員クラブ）	○	○		ホ	議
2	総会の企画・運営（2月例会）	議			○	ホ
3	3月中旬5JC合同例会の企画・運営 投票率向上事業の企画・運営		ホ	○		○ 議
4	4月拡大例会の企画・運営		○ 議		ホ	
5	5月自由テーマ例会の企画・運営			ホ	○	議
6	6月指導力開発例会の企画・運営			○ 議		ホ
7	総会の企画・運営（7月例会） 会員親睦会の企画・運営（会員クラブ）	ホ			議	○ ○
8	8月青少年育成例会の企画・運営	○	ホ	議		
9	9月ブロック大会例会の企画・運営	議	○	ホ		
10	10月青年団体交流例会の企画・運営 しまだ大井川マラソンへの協力	ホ	議	○	○	
11	11月スポーツ例会の企画・運営	○			ホ	議
12	総会の企画・運営（12月例会） 卒業式の企画・運営 忘年会の企画・運営（会員クラブ）	ホ	○	○	○	議

○：例会（事業）担当

ホ：例会ホスト担当

議：理事会議事録担当